

四万十町 通信

vol.132

ちくじ contents

- | | | | |
|----|---------------------|----|------------|
| 02 | 季節の風景／今月の人きらり | 22 | おしゃべり通信 |
| 03 | 話題の広場 topics&report | 24 | 美術館・図書館だより |
| 07 | お知らせ | 25 | 募集 |
| 08 | 第2次四万十町総合振興計画 | 27 | トッピさんの花木教室 |
| 21 | 健康のしおり | 28 | 四万十町ぐら〜り散策 |

2017

3



【今月の表紙】

高知県地場産業大賞受賞
四万十コンクリート株式会社の皆さん
関連記事 ④ページ

高知縣市町村対抗駅伝競走

1月29日、第65回高知縣市町村対抗駅伝競走が開催され、26市町村から41チームの選手が参加、四万十町から中学生・高校生・一般で構成する2チーム（A、B）が出場し、室戸市から安芸市までの46.5km（8区間）のコースを力走しました。Aチーム1区の市川孝徳選手（日立物流陸上部）が区間賞を取る見事な走りを見せ、Aチーム4位入賞、Bチーム25位と大健闘しました。



	Aチーム	Bチーム
1区	市川 孝徳	平山 翼
2区	竹村 俊斗	中川 真輔
3区	林 優利	富田 壮司
4区	國本 武恒	田井 翼
5区	武山 弘周	森澤 安倫
6区	芝 泰史	中平 昌徳
7区	常石 翔太	中平 伸幸
8区	川上依武輝	武田 真幸

大正地区防災活動拠点施設・地域交流センターたのの落成

2月10日、四万十町大正で「大正地区防災活動拠点施設・地域交流センターたのの」の落成式が行われました。落成式典には、中尾町長をはじめ、町議会議長並びに町議会議員、四万十清流消防からは伊藤順三署長、四万十消防団から橋本章一団長並びに関係者、地域の代表者が出席されました。

この施設は、四万十田野々消防団屯所としてだけでなく災害時に避難場所として利用でき、平常時には、地区内の会議や住民の生涯学習の拠点としての活用を図っていきます。



▲もち投げ



▲テープカット

鬼は外、福は内 交通事故はごめんです

2月3日、四万十町交通安全母の会主催で、窪川小学校2年生と老人クラブ、しまんと町社会福祉協議会など多くの方々にご協力いただき、交通事故・詐欺被害防止の啓発活動を行いました。

当日は、香月が丘・榊山町・東町地区を中心に、啓発チラシと節分豆を高齢者宅に配布し、子どもたちも元気な声で注意を呼びかけました。

今年度も四万十町内において交通事故・詐欺等の被害報告がありました。皆様も十分お気を付けください。



季節の風景 3月

ダイヤ改正

ダイヤとは、ダイヤグラムの略称で、一定の線路の列車運行計画を表現した線図のことです。縦軸に距離と駅、横軸に時刻をとり、列車のおりおりの位置を斜線で示します。鉄道が一般的ですが、鉄道以外の交通機関でも使用されます。そして、ダイヤグラムから各駅の停車時刻を抜き出して表にしたものが時刻表となります。

現在、JR各社のダイヤ改正は3月頃に行われることが多く、改正の曜日は通勤・通学に影響を及ぼしにくい土曜日、次いで日曜日がほとんどです。JR各社の改正は、その会社の管轄が広いことから影響を受ける範囲が大きいために、関係する私鉄やバス事業者も同時に改正を行うことがあるのです。一般に改正日の始発列車から施行されるのですが、夜行列車など日付をまたぐ列車については改正前日より改正後のダイヤで臨時列車として運行されます。

輸送力増強や路線網の変更へ対応するために行われるダイヤ改正は、その規模により従来のダイヤをいったん白紙に戻した上で、すべてを書き換える白紙改正と、従来のダイヤを基本として、少しずつ修正・追加する挿入式改正に大別されます。改正によって利便性が低下した場合、利用者などから「ダイヤ改悪」と揶揄されることもあり、一部の鉄道会社やマスコミでは「改定」とすることもありますが、そうではありません。



今月の

人オムツリ

大丈夫！
それぞれに必ず強みはある！



▲海外をまわっていたころ

松本さんの出身は兵庫県尼崎市。地元の高校から関西学院大学社会学部へ進み、卒業後は東京のITコンサルタン会社へ。そして2016年10月に地域おこし協力隊の員として町営塾「じゆうく」の運営に参加しました。

松本さんの大学時代のアルバイト歴がいろいろ！塾の講師、学内で行われる留学生の授業の日本語サポート、キッザニア（西宮市にある子どもたちのための職業体験遊園地）でのスーパーバイザー、また、4歳の頃からダンスを習っていたことから、ダンス教室のインストラクターなど

など。多種多様なアルバイト歴の中でも、とりわけキッザニアでの体験は学ぶことが多かったと言います。初めは大手印刷会社のブリスを担当。次に歯医者さん。その後は裁判官。そして警察官。ご本人曰く「出世していきました（笑）。模擬体験を通して、子どもたちに世の中の様々な職業を知ってもらおう仕事なのですが、私の方が学びました」

また、大学2年生の時、交換留学生としてたった一人でフィリピンへ。5か月近くの留学期間で、フィリピンの文化に触れることができるかと期待していた松本さんですが、実際は日本で学ぶことと同じようなことを、現地の大学で英語で学ぶだけで「面白くなかった」といいます。そして2か月後、なんと松本さんは脱走を謀ります。フィリピン国内の島々からインドネシア、タイ、ラオスなどをまわって、

ちょうど留学期間が終わる頃帰国。「親にはもちろん内緒でしたが、バスポートを見られてパレました（笑）」さらに、4年生になった松本さんは、就活を早めに済ませてまたまた放浪の旅へ。今度は、スペイン、インド、ミャンマー、モロッコなどなど。ご本人は「わたしビビリ（こわがり）ですよ」とおっしゃいますが、なかなか肝玉が据わっています。

そんな松本さんが卒業論文に選んだテーマは「家庭環境が子どもの自己肯定感に及ぼす影響」。自身の子ども時代からの経験をベースに、教育への思いがじわじわと湧いてきていたそうです。松本さんが常に大切にしていることがあります。それは「みんなが自分の強みを生かして生きること」そして「この町の子どもたちにも、大丈夫！それぞれに必ず強みはある！と伝えたい」という松本さんです。



まつもと ちか
松本 千花さん
(榊山町)

控幅自在耐震性大型ブロック「ガーディアン」 四万十コンクリート株式会社(床鍋)



▲控幅自在耐震性大型ブロック「ガーディアン」
前後のコンクリート板を鉄骨でつなぎ、奥行の幅や傾きの調整が可能で、狭い現場や災害復旧工事などでの活用が期待されます

国土を守り、地域を守る、
そして従業員を守る。

高知県地場産業大賞は、高知県内で作り出された優秀な地場産品や地域産業の振興に貢献のあった活動を顕彰する賞です。

今月の四万十町通信では、大賞受賞後、新聞やテレビなどの報道で県外・国外からの問い合わせも増えた「ガーディアン」と共に、日々忙しく働かされている従業員の皆さん取材させていただきました。

四万十コンクリート株式会社には、現在役員を除いて21人が勤務しており、そのうちの18人が四万十町在住で地元雇用にも力を入れてい

構想から10年の歳月をかけて開発された新型ブロック「ガーディアン」の商品名には、災害から国土を、地域の雇用を守る守り神となつて欲しいとの願いを込められています。

その「ガーディアン」が今年の地場産業大賞に輝き、2月13日に高知新阪急ホテルで行われた表彰式の後、15日には町長への受賞報告に来庁いただきました。



▲現場を支える職人の皆さんの仕事風景

喜びの声



にしむら ただし
西村 忠
工場長

製品に対して協力してくださった方や、従業員一同が日々努力してきた結果、頂けた賞だと思います。今後もより良い製品作り・品質向上に努めていきます。



たかはし ひろき
高橋 宏樹
試験室 室長

今回の受賞、大変嬉しく思います。品質管理責任者としてこれからも皆様に信頼していただけるコンクリート製品の製造品質保証を行っていきたく思いますのでどうぞよろしくお願いいたします。



たけち しげはる
武市 茂晴
部長代理

この度、弊社の製品が地場産業大賞を頂きました。これからもこの賞に恥じないよう職員一同、一丸となって頑張っていきます。



のむら みつお
野村 満雄
取締役社長

地域住民の皆様方のご支援・ご協力があったからこそこの受賞だと思っています。今後も健全で持続していく会社作りを目指して、しっかり運営していく決意です。



▲町長室で大賞受賞の報告(2月15日)



▲ケーブルテレビのインタビューを受ける
矢野武志会長



▲コンクリート板は重ねて保管できるため
作り置くことができるようになりました